

# True Peace

天國10年  
天曆04  
2022年 陽曆5月





# 天の摂理の完成、 天苑宮奉獻勝利のために前進しよう!

尹燦鎬 世界本部長



天の父母様の願いは、太初にご自身が理想とされた、天の父母様の下、人類一家族の理想をこの地に実現されることでした。しかし、天の父母様が夢見たこのような理想は一度も実現せず、したがって全人類が願ってきた恒久的な平和世界もやはり、たったの一度も実現することはありませんでした。

この地に天の父母様の独り子、独り娘として顕現された真の父母様は、このような恒久的な平和世界の実現のために生涯を捧げて来られました。特に、真のお父様の天宙聖和以降、真のお母様は天の父母様との約束と、真のお父様の遺業を完成されるために、第一次天宙的カナン7年路程の勝利の土台の上に天一国安着を宣布されました。この地に天一国が安着したということは、この地に神様が人類の本然の縦的真の父母であられる、天の父母様として安着されたことを意味し、このような理由から真のお母様は"天の父母様聖会"を宣布され、2027年「第60回天の父母様の日」まで神統一世界安着のための第二次天宙的カナン7年路程の勝利のために前進し続けておられます。

その中でも特に今年2月、奇跡のような韓半島平和サミットの大勝利を通じた神統一韓国安着の基盤を造成され、その土台の上に2023年までに天一国の首都であるこの場所、孝情天苑を中心に天の父母様が安着されることのできる、地上天国のモデルを完成されるために壮大な構想をされ、進めておられます。そして、そのような孝情天苑モデル造成の、最も中心となる天の父母様の聖所が、まさに天苑宮です。

真のお母様は次のように語られました。「この建物の完成は天の摂理の完成です。人類歴史の完成です。天正宮が真の父母様を中心にした至聖所であるならば、天地鮮鶴苑は中央庁の概念だとお話ししましたが、天苑宮となります。それで実際に地上にいらっしゃる真の父母が人類を相手に、すべての国を相手に治める場所です。世界のすべての人類が来て、天苑宮で教育を受け、事実を見て、父母様の業績を見て、祝福を通じて生まれ変わった子女となり、地上生活を充実し、美しく実らせなければなりません」(天一国7年天曆6月2日、2019年7月4日)

天一国の中央庁であり、天一国安着時代、天の父母様の本聖殿である天一聖殿、そして天地人真の父母様の生涯と業績を子孫万代相続し教育する、天地鮮鶴苑の役割を担う天苑宮は、真のお母様のみ言のように天の摂理の完成であり、人類歴史の完成です。そのため、真のお母様が寝ても覚めても天苑宮を完工させるために、随時建設現場を訪問され、陣頭指揮しておられます。

真のお母様のこのような精誠があったため、昨年(2022年)の聖婚節に天苑宮上棟式を奉獻し、奉獻を1年後に控えた現在のような天苑宮の位相を確立しました。天の摂理の完成であり、人類の歴史の完成である、天苑宮の奉獻は、真のお母様の至極なる孝情を中心とした、我々すべての責任であり、使命です。

皆さん! これまでこの歴史的な建物のために、必死に全力投球された天地人真の父母様に感謝し、2023年天曆3月16日、必ず天苑宮を勝利奉獻するその日まで、共に前進しましょう! 

## CONTENTS



### 巻頭言

- 02 天の摂理の完成、  
天苑宮奉獻勝利のために  
前進しよう!  
尹煥鎬 世界本部長

### 天地人真の父母天宙聖婚 62 周年記念

- 08 第 55 回天の父母様の日と  
第 63 回真の父母の日  
天一国敬礼記念式
- 12 2022 天地人真の父母  
孝情天宙祝福祝祭
- 17 天苑宮とオペリスクの除幕式
- 19 特別昼食会で  
真のお母様に愛を捧げる

### 世界平和女性連合創立 30 周年記念式

- 22 「混沌の時代、女性が平和をつくる!」  
世界平和女性連合創立 30 周年  
記念式開催

### 歓迎の辞

- 26 女性時代が到来した摂理の春  
文薫淑 世界平和女性連合 世界会長

### 祝賀メッセージ

- 29 女性の集团的愛の力で世界を救う  
文善進 世界平和女性連合 首席副会長

### 真の父母様のみ言

- 04 聖婚式と「小羊の婚宴」  
真の父母様 第一篇 第二章 第一節
- 11 天の願いを成就して差し上げる  
誇らしい祝福家庭をご覧になり  
喜ばれますように  
2022 天地人真の父母 孝情天宙祝福祝祭
- 16 クリスタルよりももっと澄んだ姿で、  
歴史に陰があれば  
清算し乗り越えていこう  
天苑宮勝利奉獻決意式
- 20 天一国安着時代に  
女性が先頭に立って  
天の父母様のことを教育しなさい  
世界平和女性連合創立 30 周年記念式
- 34 黄金期のようなこの時  
責任を果たし、天の父母様を  
喜ばせて差し上げよう  
天地人真の父母様主管 世界指導者特別集会



### 激励の辞

- 30 母の心、母性的な愛の力で  
文妍娥 神韓国 UPF 議長

### 天一国世界指導者特別教育 及び天心苑特別精誠

- 32 指導者たちが  
真の父母様と足並みを揃える

### 孝情天宙特別大役事

- 36 大役事、再びここに

### ICSG

- 38 地球環境復元のための  
科学者たちの解案模索の場  
文善進 世界平和女性連合 首席副会長

### ICUS

- 41 科学の統一に関する  
国際会議 (ICUS)  
歴史ブリーフィング



## 聖婚式と「小羊の婚宴」

### 聖婚式と「小羊の婚宴」

ヨハネの黙示録第十九章に預言された「小羊の婚宴」は、真の父母様の聖婚式によって実現された。創世記で失われたアダムとエバを、ヨハネの黙示録で取り戻して一致させるのである。御夫妻の聖婚式は、人類歴史の終末時代に、第三アダムとして来た再臨のメシヤが、その配偶者であり第三エバである聖霊の実体を新婦として迎え、神様が真なる人類始祖の夫婦として祝福してくださる式であった。誤って生まれた人類は、生まれ変わらなければならないため、真の父母が必要である。

アダムとエバが成長期間の長成期完

成級で墮落して偽りの父母に転落し、またイエス様までもイスラエル選民から不信され、十字架を背負われるようになったことを蕩滅復帰した位置で、真の父母様の聖婚式が挙行されたのである。

本来、人間始祖は、善なる父母として出発しなければなりませんでした。悪なる父母として出発したため、人間は、すべて悪なる父母の血統を受け継いで生まれました。神様の愛を「私」への愛としてそっくりそのまま受け、神様の懐に抱かれて、神様の直系の愛を通した血族として残された息子、娘にならないのですが、そのようになれな

ったというのです。ですから、その本来の立場に帰らなければなりません。これが正に、新郎と新婦を迎える「小羊の婚宴」です。

主がこの地上に新郎として来て、一人の新婦を探し、一つの基準の上に接ぎ木しなければならないというのです。それがキリスト教の主張する内容です。その基準を設定し、確固たる目的を立てた宗教が、キリスト教です。ですから、今日、民主世界がキリスト教文化圏において発展するのです。真の父母を迎えようとすれば、そのように発展しなければなりません。

今まで宗教は、一人の真の息子をつ



るために努力してきました。神様は、一人の真の息子を探し出すために、今まで苦勞されたというのです。ですから、世界宗教の教主たちの中には、女性がないのです。

数多くの宗教の経書の中で聖書が偉大なのは、神様が人類の親であると掲げてきたからです。これがキリスト教思想の源泉です。その次に、イエス様は「ひとり子である」と言いました。ひとり子は、父なる神様の愛を初めて受けることができる息子です。その次に、キリスト教思想は新婦思想です。イエス様はそのようなひとり子なのですが、新郎として来たのです。そのため、新婦が必要です。ひ

とり子がいるので、ひとり娘が必要だというのです。

新郎と新婦は、男性と女性です。新郎新婦の宴の日とは、神様が初めて愛の旗を掲げて現れる日です。そのような婚宴の席が、エデンの園から願われてきたのです。これが台無しになったので、人類世界の終末において、この婚宴の席を再び回復しなければならないというのです。

イエス様は、「私は神様の息子だ」と言いました。そして、「神様は私の父だ」と言いました。その次に、「私はひとり子だ」と言いました。ひとり子は、初愛を受けることができる王子です。神様の息子の中でも、初愛を受けることができ

るひとり子だということです。初愛を独占できる息子なのです。その次に、ひとり娘がいなければなりません。新郎はひとり子であり、新婦はひとり娘です。結婚式をしなければなりません。それが「小羊の婚宴」です。主がこの地上に来て婚宴をするのです。

「小羊の婚宴」をするようになれば、家庭をつくるようになります。神様が願うものが家庭です。神様が願うのは、人類を神様の愛を中心としてひとり子とひとり娘とし、神様が本当に愛し得る家庭をつくることなのです。

聖書を見ると、「終わりの日」には、メシヤが来て「小羊の婚宴」をするという



聖婚式の式順に従って向かい合ってお辞儀をする真の父母様。

内容が書かれています。「小羊の婚宴」とは、神様の血統関係を中心として夫婦になることです。そのようにして、人類の真の父母が現れたとすれば、サタンは存在できません。血縁的关系を中心として、その血統を結んでくれるのが、父と母、男性と女性、性相と形状の実体です。

神様の愛を動機として生命を動かし、愛と生命と血統が一つになって渦巻くのです。その中で女性と男性の主人が入れ替わり、二人が一つになって共に「主人だ」と言えるところから、生命の種、子孫が連結されるのです。それが創造理想です。ところが、そのようなものがすべて壊れてしまいました。それを取り戻すためには、代わりに万物を取り戻し、人間を取り戻し、父母を取り戻さなければなりません。これが救援摂理の骨子です。

再臨主が来られて婚宴をされると言われています。婚宴、つまり「小羊の婚

宴」をするには、イエス様を中心として新婦がいなければなりません。その新婦が、墮落する前のアダムの前にはエバです。イエス様は第二次のアダムであり、来られる再臨主は第三次のアダムです。ですから、第三次のアダムが、墮落する前のアダムとして来て、墮落する前のエバを探し出し、「小羊の婚宴」をしなければならぬのです。

結婚することによって人類の父母になるべきアダムとエバが、墮落したことによって悪なる父母になりました。それで、私たちが墮落する前の善なる父母に出会うようになれば、復帰されるのです。ですから、人類には善なる父母がいなければなりません。「小羊の婚宴」をするのは、善なる父母として即位するためです。

人間は本来、墮落せず、時と環境を整えて神様の祝福を成就した真の先祖にならなければなりません。ところが

が、それができずに墮落した先祖になったので、万民の前に墮落していない善の先祖が登場しなければなりません。その人は、天にいる霊人たちにとっても父であり、地に暮らす人たちにとっても父になれる方です。そのような方を、キリスト教では再臨のイエスといいます。

「小羊の婚宴」は、再臨のイエスが父として来られて、母を立てる祝宴です。キリスト教の真理とは、正にこのことなのです。キリスト教の中心はイエス様であり、イエス様の中心は愛です。聖書の中心も愛です。愛の中心は新郎と新婦であり、新郎と新婦の中心は「小羊の婚宴」です。この「小羊の婚宴」の中心的な意味は、本来、神様が許可した時と環境を整えて、天と地を相続できる真の人間先祖として祝福を受けることなのです。

神様は、失ってしまったアダムとエバの代わりに存在を求めています。聖書で



聖婚式の披露宴を行う真の父母様。

は、イエス様を後のアダムと言い、完成したアダムを生命の木と言っています。ですから、イエス様は、失ってしまった生命の木の代わりとして来られた方です。しかし、イエス様は、使命を完結することができませんでした。神様と息子が喜ぶことができる一日をもつことができなかったのです。再臨という言葉を残すようになったのです。神様がイエス様と共に喜ぶことができる一時、六千年の恨の心情を吐露し、神様と、あるいは今後来られる主と息子、娘の関係を結ぶ日が来るのです。神様のひとり子、イエス様がこの地上に来られて、もし亡くなっていなければ、イエス様がひとり子だと語ったので、神様は彼のためにひとり娘も送られたでしょう。神様の二千年の(キリスト教)歴史は、新婦を求めるための歴史です。イエス様は、真の息子の姿で現れましたが、真の娘の姿がないので、神様のみ

旨を成し遂げることができませんでした。ですから、二千年のキリスト教の歴史は、娘を求めるための歴史です。聖霊は、神様の娘として来られました。神様を解怨するその日が、「小羊の婚宴」の日です。

今まで宗教は、理想的な一人の男性と理想的な一人の女性を求めてきました。神様が「この人は、私があったけの愛を注ぐ人だ」と言い得る、一人の男性と一人の女性を求めてきたのです。キリスト教でいう新郎と新婦とは、世界をすべて網羅して、神様の愛を受けることができるひとり子とひとり娘を探し出すことを意味します。完成した男性と女性がこの地上で出会い、婚宴を行ってこそ、新しい世界が開かれるのです。ですから、来られる再臨主は、新婦を探し出して「小羊の婚宴」をしなければなりません。

人間が堕落していなければ、原罪のない息子、娘を生み、そのまま天国に

行ける家庭をもっていたはずですが、そこに立った父母は真の父母です。また、その家庭は、神様と一つになった家庭です。その息子、娘は、神様の家庭の子孫です。このようなみ旨を創世記で成就できなかったのが、ヨハネの黙示録に至って、新郎と新婦の名を立てて成就しようというのです。

新郎は、完全な真の父として来られる方です。新婦は、神様が愛することのできる真の母として登場する方です。アダムとエバが堕落していなければ、神様を中心として結婚式をしたはずですが、堕落したことによって、サタンを中心として結婚式をしてしまったので、それを取り戻して神様を中心に初めて聖婚式を行うというのが、ヨハネの黙示録にある「小羊の婚宴」という言葉なのです。☞

このみ言は、真の父母経 第一篇 第二章 第一節を抜粋したものです。

# 天地人真の父母天宙聖婚62周年記念 第55回天の父母様の日と 第63回真の父母の日 天一国敬礼記念式

天地人真の父母天宙聖婚 62 周年記念と、第 55 回天の父母様の日および第 63 回真の父母の日の天一国敬礼記念式が、天正宮で盛大な拍手とともに行われた。朱鎮台（ジュ・ジンテ）神韓国共同大陸会長が司会を務め、参加した家庭を代表して文妍娥（ムン・ヨナ）議長がろうそくに点火した。

天一国国歌と家庭の誓いを順に斉唱して、金起勳（キム・ギフン）神アメリカ天議苑苑長の祈禱へと続いた。

「真のお母様は、私たちと世界を新たな希望で祝福され、宇宙の母、統一の母として、真のお母様は今も天の摂理の最前線で、神統一韓国に向けて、昼夜を問わず私たちを導いておられます。真のお母様、私たちは今や最後の頂点に達しました。真のお母様は、私たちがお母様の心情と一つになって共に進むことができると言われました。私たちみんな、真のお母様が天の独り娘であることを証しましょう。私たちの天の父母様、真のお父様、そして独り娘、真のお母様と一つになることが、世の中のあらゆる問題を解決することのできる唯一の方法です。そうすれば人類はみな、神様を中心とした一大家族になることができます。」

真のお母様が入場されると、参加者全員でご挨拶をした。続いて文信出（ムン・シンチュル）・文智甥（ムン・ジウ）家庭と文信興（ムン・シンフン）・文有恵（ムン・ユメ）家庭から真のお母様に花束が捧げられた。

そしてアフリカのバカリ・カマラ、キャシー・リグニー天議苑指導者、ヨーロッパのマイケル・バルコム会長、ジャック・マリオンヨーロッパUPF 会長が、天一国の指導者を代表して壇上に上がり、花かごを奉呈した。この指導者たちの後について、2 世 3 世の子供たち 6 人が真のお母様の前に立った。子供たちも真のお母様に敬礼をして、花かごを奉呈し、写真撮影が行われた。





朱鎮台 (ジュ・ジンテ) 会長の司会で、霊肉界の真の家庭の敬礼が行われた。インターネットの双方向生中継により、海外の文善進 (ムン・ソンジン)・朴仁涉 (パク・インソプ) 様家庭と文権進 (ムン・クォンジン)・全和延 (ジョン・ファヨン) 様家庭とも繋がった。

その後、神韓国、神日本、神アメリカ、神アフリカ、神ヨーロッパ、神中米、神アジア 1、2 地区の 2 世の指導者たちが敬礼をした。続いて世界各国の天一国の未来の指導者、世界平和青年学生連合の代表らが出てきて敬礼し、最後にこの行事にオンラインで参加している食口たちも敬礼した。

全員が席に戻ると、真のお母様は聖餐を始められた。真のお母様が聖餐を終えられ、鄭元周 (ジョン・ウォンジュ) 総裁秘書室長が、天一国 9 年天曆 3 月 16 日 (陽 2021.4.27) の天苑宮上棟式での真のお母様の祝祷を訓読した。

「感謝してやまない天の父母様、ありがたき天の父母様! あまりにも長くお待ちせしてしまいました。今日この日を迎えるまで、この胸ときめく日を迎えるまで、60 年という歳月を経て聖婚 61 周年を迎える今日、ようやく天の父母様をお迎えするための聖殿を地上に奉献することのできる今日の上棟式が挙行されます。(中略) この民族が願う統一韓国は、天の父母様に侍る立場であってこそ可能であります。したがって、この聖殿が完成されることは、天の父母様が夢見ていた、地上に真の父母と共に安着される時であることを知らなければなりません。この国の為政者はもちろん、世界各国の責任者が今日の世界で起こっている難問題を解決するためには、ここに来てひざまずいて天の憐みと天の知恵と祝福を受けなければならないことを知っています。私はこの民族に対して強く求めます。天の祝福を受けることができるこの民族が、この国が、この民になるためには、天一国の資格を備えた祝福家庭、祝福を受けた者として、この国を治め、導いていく中心人物になることを切に願っています。その道こそが、今日この国が世界の中心国として、堂々と進み出られる道であることを、天の祝福であることを知るべきでしょう。今日ここに参加したすべての指導者と家庭は、これ以上天の前に不孝不忠な子女であってはなりません。もうこれ以上天を悲しませてはいけません。天の加護を望むなら、天の祝福を望むなら、天の父母様を正しく知って侍る道しか、この国と人類が進む道はないことを肝に銘じてくださることを願い、今日この上棟式を始める前に、長い時間がかかりましたが、私はとてもとても興奮し感謝しています。2023 年に奉献するその時まで、今日から天の父母様がすべてを主管される中で、役事され守ってくださることを切に願いながら真の父母の名でお捧げいたしました。」

訓読会のあと、梁昌植 (ヤン・チャンシク) 神中南米天議苑苑長による億万歳三唱が行われた。梁昌植天議苑苑長は、「今日は無形の天の父母様が、実体の真の父母様を通してこの地に顕現された感謝、感激、勝利の日です。今まで、天の父母様の日と真の父母の日を別々に記念してきましたが、今日は実体の真の父母様が顕現されたこの日を期して、一つに天の前に奉呈されるという驚くべき摂理を遂げられた真のお母様に感謝と尊敬を捧げます。今日の歴史的な三つの行事の重要な意味を胸に刻み、神統一韓国に向けた決意と誓いを天の前に大きく奉獻する思いで、億万歳三唱を奉呈いたしましょう」と語った。🌀



- 1 赤紫色の美しい韓服を着て登壇された真のお母様。
- 2 花かごを奉呈する文信出(ムン・シンチュル)・文智甥(ムン・ジウ)家庭と文信興(ムン・シンフン)・文有恵(ムン・ユメ)家庭
- 3 ろうそくに点火される文妍娥(ムン・ヨナ)議長。
- 4 天正宮宴会室の会場で全体が億萬歳を叫ぶ。



# 天の願いを成就して差し上げる誇らしい 祝福家庭をご覧になり喜ばれますように

2022天地人真の父母 孝情天宙祝福祝祭 天地人真の父母様祝禱  
天一国10年天曆3月16日（陽. 2022.4.16） | 清心平和ワールドセンター（HJグローバルアートセンター）

きょう世界の70ヶ国でこの場に参加している2100双が、尊貴なる天の父母様に共に侍り、天一国の民としての責任と召命を全うする、あなたがそれほど愛し、抱きたかった、孝子・孝女、忠臣の家庭になることができるように祝福してくださいましたことを、無限に感謝また感謝し、栄光をお捧げ申し上げます。

愛する天地人真の父母様! どれほど人類を抱くためにご苦労されたのでしょうか。今や父母様の苦労によって天一国が安着し、新しい歴史の春風が吹くこの時に、きょうあなたの祝福を受けて出発する祝福家庭は、必ずや、あなたが人類に施そうとなさるその夢を、実体的に成さなければなりません。

私たちの家庭を通して、氏族と国を経て、世界において「天

の父母様のもと人類一家族の夢」を成すことのできる、このとてつもない祝福を受けたこの日、私たちの一生において一番の黄金期に、真の父母様と共に、この大役事に一緒に同参し得るきょうとなり、出発することのできるこの時間を許諾してくださいましたことに、心より感謝申し上げます。

天の父母様、愛する真の父母様、これから私たちを信じてください! 必ずや独り娘、真の母と一つとなり、あなたの夢、人類の願いを成し遂げて差し上げる誇らしい祝福家庭の息子娘になることを、何度も決心して実践躬行する私たちをご覧になられ、お喜びになってください。このすべてのみ言を真の父母様の名で祝願宣布申し上げます。🙏



## 天地人真の父母天宙聖婚62周年記念

# 2022天地人真の父母 孝情天宙祝福祝祭

天一国 10 年天曆 3 月 16 日 (陽 2022.4.16)、天地人真の父母様の聖婚 62 周年を記念して、天地人真の父母様が主管される 2022 孝情天宙祝福祝祭に参加するため、世界各国の教会から新郎新婦が集まった。世界の 2100 組のカップルが祝福を受けた。海外の食口はオンラインで参加したが、韓国の祝福祝祭に参加したカップルは、清心平和ワールドセンターに集まった。

司会を務めた尹煥鎬(ユン・ヨンホ) 世界本部長は、水仙の花で美しく飾られた舞台上で演説をした。尹本部長は開会の辞で次のように述べた。「1960 年の天曆 3 月 16 日、この地に独り子・独り娘として顕現された真の父母様ご夫妻は、人類歴史にかつてなかった、そしてこれからもない子羊の婚宴、聖婚式を通して真の父母になりました。ご夫妻が天宙史的な聖婚式によって真の父母となられたので、真のオリーブの木であるご夫妻の純粋な血統に、偽りのオリーブの木である人類が接ぎ木されることで、重生・復活・永生の道、すなわち祝福の道が開かれたのです。この祝福の道こそが、天の父母様と天地人真の父母様が人類に与えてくださった最大の贈り物、偉大な祝福結婚の伝統なのです。」

花婿たちが、立ち上がって準備していた花を花嫁に渡して席に着くと、会場が暗くなって 2 分 30 秒のあいだ照明パフォーマンスが行われた。その後、祝福の地、分裂の地、平和の地を表現したミュージカルが始まった。

ミュージカル俳優たちが舞台を降りると、礼服を着た先輩家庭が介添人として入場し、主礼を迎える準備をした。続いて尹煥鎬世界本部長が「愛する祝福家庭の皆さん、主礼の真の父母様が入場いたします。全体起立して熱い拍手で愛する真の父母様をお迎えください。」とアナウンスした。真のお母様が登場されると、尹本部長は続けて「霊界の真のお父様と地上の真のお母様が天の父母様と完全に一つとなられ、今日この場に集ったすべてのカップルに、天の父母様の孝情を伝えるために入場しておられます。」と語った。これは本当に重要なことである。





文妍娥(ムン・ヨナ)議長に付き添われて、二列に並んだ介添人の間を歩いて真のお母様が会場に入場された。尹本部長は「1960年、真の父母様の天宙聖婚式に霊界と地上が共に集った。この特別な日、献身と絶対的な犠牲の道を歩まれた真の父母様が、2022年に孝情天宙祝福式を主管なさるためにこの場にいられました。」と続けた。

世界各地の未婚新郎新婦を代表した13組が舞台上がり、真のお母様にご挨拶をされると、真のお母様が聖水儀式を行われた。舞台上がらなかった新郎新婦たちは、聖水要員の行う聖水儀式を受けた。尹本部長は「聖水は昨日までのすべての人生を整理し、新たに復活させてくれる重要な意味が込められている」と説明した。世界70カ国の2100組の未婚カップルは、真の父母様に代わって各大陸や国の指導者から、同時に聖水儀式を受けた。

次に聖婚問答があった。「聖婚問答。あなたたちは、天の父母様の創造理想を完成した善男善女として、永遠なる夫婦となって、天地人真の父母様が立てた伝統を受け継ぎ、天一国が志向する理想家庭を完成することを約束しますか」(はい!)真のお母様は、新しく出発する新郎新婦のために、貴い祝福をされた。続いて新郎新婦代表の13家庭が、前に出て真のお母様にご挨拶をされると、真のお母様は永遠なる真の愛と真の生命と真の血統の伝統を守る貴い指輪を下された。新郎新婦たちは、敬虔な思いで受け取った指輪を交換した。それから真のお母様は聖婚を宣布され、次のように語られた。「天地人真の父母様の主礼により、天宙祝福式に参加した善男善女と家庭は、天の父母様と天地人真の父母様の恩賜により、天宙の前に聖婚が成立したことを宣布します。」

新郎新婦の代表家庭は全体を代表して、真の父母様に感謝の気持ちを込めて花束と贈り物を捧げた。世界70カ国の2100組の新郎新婦は、天の父母様の愛と恵みの中で、天一国が志向する理想家庭となる道へ足を踏み出した。その道のりに祝福が満ち溢れんことを祈る。☞







- 1 真のお母様が孝情天宙祝福祝祭の祝福式の主礼として入場される。
- 2 新郎新婦たちが拍手をして祝祭を楽しんでいる。
- 3 真のお母様が新郎新婦の代表に聖水儀式をおこなう場面。
- 4 真のお母様が新しい出発をする新郎新婦のために祝祷をされる。
- 5 聖婚問答を執り行う真のお母様。
- 6 真のお母様が下賜された指輪で新郎新婦の代表が指輪交換をしている。



# クリスタルよりももっと澄んだ姿で、 歴史に陰があれば清算し乗り越えていこう

天苑宮勝利奉獻決意式 真の父母様のみ言  
天一国10年天曆3月17日（陽. 2022.4.17） | 天苑宮



も無力な環境で、60年の歳月が長いといえは長く、天の摂理から見ると短いかもしれませんが、人間の肉身には限界があるので、そのように願われる天の父母様の夢を、真の父母を通じてのみ成就することのできる現実の前に、あまりにも長くかかったことを恐れ多く思います。

いま、天苑宮奉獻を1年後に控えたきょう、ここに集まった皆さんは、指導者でもあり、統一教会（家庭連合）の先輩でもあるので、天の摂理の真実を正しく知らなければなりません。それで私は、皆さんが2日間の総修練を通して、真の父母の顕現を通じて、皆さんが必ず知らなければならず、責任を負うことのできるそのような位置、すべてのものを清算した位置で、新しく出発し、2023年5月5日を迎えるように願います。

私たちの地上生活の生涯には、影があってははいけません。影になり得るものはすべて捨てなければなりません。天上天国に行く私の姿は、クリスタルよりももっと澄んでいなければなりません。おそらく私たち食口の中には、経験した人がいるでしょう。統一教会60年の歴史に陰があったとすれば、清算して越えていかなければなりません。それで、日にちを話せば、19日と20日になりますが、天心天寶修鍊苑で、すべてのものをすべて下ろして新しく生まれかわる、私と私の家庭と教会となるように、特別な精誠を捧げてくれるようお願いいたします。☞

良い日ですね？この聖殿の姿を、いま実感するようになりましたか？人類歴史は勿論のこと、天の摂理において、地上で天の父母様に侍ることのできる、聖殿を建立するようになったこの歴史的な日を迎えて、到底表現できない感懐とともに、喜びと悲しみが行き交います。

6000年人類を訪ねて来られた天の父母様の、苦勞と苦痛と待たれた心情を思うとき、6000年を経て人類の前に、この韓半島を中心として真の父母が顕現した日は、この民族だけでなく、世界すべての国々の民が、真の父母を通じて天の

父母様の子女になることのできる祝福の日、感謝と祝賀と慶事の日でした。その日は1960年（天曆）3月16日に成されましたが、天がご覧になってあまりにも胸痛い、まるで川辺に幼い子供を残しておいて一時も安心できない、そのような環境に置かれていた真の父母の生涯でした。

その60年間、天の父母様の前に恐れ多く申し訳ない思いは到底言葉にできません。それほどまでに、人類を自身の子女として抱こうと数千年間苦勞してこられた天の父母様の前に、余りに

# 天苑宮とオベリスクの除幕式

平日に何度も建物本体の上にある道路を通って天苑宮の前を通った経験から、進捗があったことは確かだが、何しろあまりにも巨大なプロジェクトだ。2021年4月27日、真のお母様をはじめとする真の家庭の方々や政治・宗教界の要人たちが天苑宮の建設現場に集まり、「上樑（上棟）式」が行われた。これで骨組みが完成したことになる。

屋根とその上にある5つのドームが完成したのだから、地下4階、地上3階は建ったと判断してもよさそうなものだ。基本的にはこれで形ができたのだろうが、これから完成までが大変だ。内壁は大理石、外壁はオマーン産の大理石と御影石で装飾する予定だ。まだ、多くの作業が残っている。

4月17日、「天苑宮勝利奉獻決意式」が行われた。このプロジェクトには多額の費用がかかると予想される。しかし、非常に重要なプロジェクトだ。この日、天苑宮の建設はオベリスクを立てる段階まで来ていた。オベリスクとは、通常1つの石の塊から作られる四角柱で、根元から頂上に向かって徐々に細くなっている。最上部はピラミッド型になり、ピラミディオンと呼ばれる。

古代エジプト人は、初期王朝時代（紀元前3150年頃～紀元前2613年頃）に、泥レンガで作られたマスタバ墓に続いて、ジョゼルの階段ピラミッド（紀元前2670年頃）の建設に先立ってこの形式を作り出したという。初期のオベリスクは、ピラミッド建設に必要なステップとして、小規模な石を彫るという、一種の労働者訓練の役割を果たしたと考えられている。古代エジプト人は、神を讃え、他人の功績を称え、出来事を記念するモニュメントとしてオベリスクを制作した。オベリスクの作り方はピラミッドと同じで、台座の大きさに応じて最大限の高さを確保しようとした。

現代では、オベリスクの強度を損なうことなく、2つ以上の石を組み合わせて作る技術が確立されている。有名なオベリスクであるワシントン記念塔は、アメリカの自由のためにイギリスと戦った初代大統領（1789-1797）と大陸軍総司令官（1775-1784）であるジョージ・ワシントンを称えるために建てられたものである。しかし、1つの石から作られたものではないため、オベリスクであることを認めない人もいる。

オベリスクの除幕式に先立ち、FFWPU世界本部の尹煥鎬（ユン・ヨンホ）本部長が短く話され、真のお母様が80歳になられる来年5月5日に、天苑宮の奉獻式を行う予定であることを説明された。天苑宮は天の父母様が住まれる聖殿となり、非常に重要だ。尹本部長は、「私たち全員が一つとなって奉納することができればと思います。真のお母様の精誠を受け継ぎましょう。天苑宮を成功裏に真の父母様に捧げるために最善を尽しましょう…。」お母様はすでに到着され、地下にいらっしゃいます。今まさに天一聖殿を巡られ、天一聖殿で祈られています。"

除幕式後、参加者全員で天一国歌を歌い、家族盟誓を唱和した。そして、韓国、日本、アメリカの天議苑長がそれぞれ報告祈禱を捧げた。真のお母様は、天苑宮を神様が住まれる聖なる場所として言及された。したがって、天苑宮は統一運動の中で最も重要な建設事業であり、いつの日か全人類にとって地球上で最も神聖な場所となるだろう。🌀

この記事は True Peace のスタッフから寄稿されたものです。





- 1 神日本徳野英治(とくの・えいじ)天議苑苑長、神韓国李基誠(이·기손)天議苑苑長、神アメリカ金起勳(김·기훈)天議苑苑長が合心祈禱をしている。
- 2 天一国の指導者たちが壇上に並び、韓日米3カ国の指導者たちが代表で「天苑宮勝利奉獻のための決意書」を奉獻している。
- 3 9つの大陸を代表した大陸会長が真のお母様が下さったオベリスク、天勝塔の模型を持って真のお母様と記念撮影をしている。
- 4 み言を語るために壇上に立たれる真のお母様。



- 5 天地人真の父母様天宮聖婚62周年記念特別午餐会でケーキカットをされる真のお母様。
- 6 トーマス・ウォルシュUPF世界議長とワシントンタイムズ財団のトーマス・マクデビット理事長が真の父母様に花かごを奉呈している。
- 7 乾杯のためにグラスを持つ真のお母様と天一国の指導者たち。
- 8 祝砲が放たれる中、億万歳をしている天一国の指導者たち。



# 特別午餐会で 真のお母様に愛を捧げる

清心平和ワールドセンターで特別な午餐会が開かれた。食事が終わると、指導者たちが真のお母様に近づき礼物を贈呈した。まず天宙平和連合のトーマス・ウォルシュ議長、ワシントン・タイムズのトーマス・マクデビット会長、神アジア太平洋 1、2 のロバート・キttl天議苑長、UPF アジア太平洋のエクナット・ダカール議長らが真のお母様に花かごを捧げた。

神韓国第 5 地区のパク・ヨンベ地区長と神日本第 5 地区のパク・ジョンピル地区長は、真のお母様に二本の木のお絵を贈呈した。また、他の二人の指導者によって日韓海底トンネルの模型が真のお母様に贈られた。ヨン・ジョンシク神米国大陸会長も真のお母様に礼物を贈呈した。神アフリカのバカリ・カマラ天議苑長とジャン・ピエール・カディマ大陸会長は、アフリカの言語に翻訳されたお母様の自叙伝をお渡しした。神ヨーロッパのマイケル・バルコム大陸会長と神中東地域のバク・ジョンイン大陸会長が真のお母様に絵画を贈呈した。神南米のキム・サンスクとキム・ドンウ共同大陸会長は、鳥の彫刻を贈呈した。神アジア太平洋のデミアン・ダンクリー大陸会長は、真のお母様に壺を贈った。

礼物の贈呈の後、乾杯が行われ、その後、真のお母様が短いスピーチをされた。世界平和青年学生連合のグループがダンスを披露し、歌手チョ・ハンジョは、「愛を探して人生を探して」「心配するな 過ぎ去る」「I Love You, Parent 愛しています、父母様 (사랑합니다, 부모님)」の 3 曲を歌った。続いて 22 人の指導者が「愛してます、真の父母様」を歌い、最後に、韓国 UPF のイ・ヒョンヨン会長と日本 UPF の梶栗正義会長の億万歳三唱で閉会した。🎵

---

この記事は、True Peace のスタッフから寄稿されたものです。





## 天一国安着時代に女性が先頭に立って 天の父母様のことを教育しなさい

世界平和女性連合創立30周年記念式 真の父母様み言

天一国10年天曆3月21日（陽、2022.4.21） | 清心平和ワールドセンター（HJグローバルアートセンター）

愛する国内外の指導者、女性連合の会員の皆さん、お会いできて嬉しいです。

墮落以後、人類歴史は、男性を中心として流れ来て、戦争と葛藤で綴られた歴史でした。特に中世時代、キリスト教の環境圏のヨーロッパで、女性の地位は、どこにおいても表に現すことができずでした。国が危機に瀕するとき、一番先頭に立ったのは女性でした。特にイエス様の十字架後のイスラエル民族（ユダヤ民族）は、国のない民族として、流離

孤客（注、故郷を離れ、独りさまようこと）しながら2000年が流れてきました。しかし、今のイスラエルがあり得るのは、ユダヤ教の伝統を家庭で実践した女性、母親がいたためです。

いま真の父母の勝利的な基盤の上で、天一国安着をしたこの時に、女性の役割が重要です。女性が先頭に立って、天の父母様のことを教育しなければなりません。墮落した人類が創造主・天の父母様の懐に帰ることのできる道は、真の父

母を通してのみ可能です。そのため、祝福を受けた皆さんの家庭から氏族、国、世界的に、墮落した人類全体が天の父母様に侍ることのできる資格を得られる、その位置に進み行くよう教育しなければならないのです。

奉仕、良いです。私たちがしてきたことです。この地球上に200以上の国（や地域）がありますが、多くの問題点があります。しかし彼らに、それぞれが誕生した本質が分かるようにしてあげなければ

ばなりません。真の父母を通して天の父母様の子女になる道だけが、彼らにとって祝福であることを、分かるようにしてあげなければなりません。

特にこの国は、6000年を経て、初臨である独り娘を誕生させた民族として、二つの国ではない、一つの国にならなければなりません。そのためには、天の摂理は勿論、歴史の真実が分かるようにし、各自が責任を果たせる位置に進むことができるよう教育しなければなりません。そのような面で、特に女性の役割が重要です。母親が赤ちゃんを、10か月を経て出産すれば、それで終わるわけではありません。赤ちゃんが元気に成長できるよう保護し、常に目を離さないようにしなければなりません。子供が自ら判断し、正しいか間違いかを判断できるときまで、母親の精誠と努力が必要です。

この民族が、天が選んだ選民としてのその責任を果たすにあたり、知らなけれ

ばなりません。過去の歴史を見ると、かわいそうな民族です。外勢の侵略もたくさん受け、華麗だった時代もありましたが、戦争を嫌ったために、結局は韓半島に定着するようになりました。この民族を通して、とてつもない天の摂理の完成を見るための過程で、民族の受難は到底言葉にできませんでした。しかし天が保護してください、この民族に、天が待ち焦がれた、天の子女として誕生させてくださる人類の先祖、真の父母が誕生しました。その誕生とともに、独り娘の摂理が活発に進行していたならば、どうだったでしょうか？ 墮落した人類を再び生んでくださる方は、真の父母であり、独り娘、真の母です。

いま私たちは、来年には天の父母様に侍ることのできる天一聖殿を奉獻するようになります。まさに6000年間、天が望み、夢みて待つて来られた、実体的環境が定着するようになります。韓半島が、特に南の韓国の国民が、100パー

セント天の父母様の民として接ぎ木されなければならないのですが、そこに重大な役割を果たし得る、女性連合の皆さんです。

母の心で周辺や地域、氏族、さらには民族を、天の父母様の祝福を受けることのできる、真の父母を通して真の子女の位置に進みゆくように、教育し誕生させてあげなければなりません。私たちの道は華麗です。ためらうことはありません。堂々としています。引け目を感じることはありません。何を躊躇しますか？ 何回も私は言いました。私と一つになって進みゆけば奇蹟が起きる！ 信じますか？

女性連合の会員が収める実績が、皆さんの夫にも大きな勲章をつけてあげることになり一石二鳥ですが、しますか？ 天の伝統を立て、教育して、真なる息子娘として誕生させることのできる資格を備えた女性連合の会員の皆さんになるように祝願します。私は皆さんを信じています。上手にしてみましよう。☞



# 「混沌の時代、女性が平和をつくる！」

## 世界平和女性連合創立30周年 記念式開催

平和がこれまで以上に切実に願われる今の時、世界平和女性連合（以下女性連合）は、天一国 10 年天曆 3 月 21 日（陽曆 2022.4.21）午前 10 時に「世界平和女性連合創立 30 周年記念式」を「女性が平和を作る」というスローガンのもと、新型コロナウイルスの防疫指針を遵守する中で行われた。京畿道の清心平和ワールドセンターで米国、日本、英国、チェコなど 60 力国から出席した国内外の女性指導者および女性会員などが参加する中、4 つの言語に通訳されて行われた。

真のお母様は記念式で、「人類の歴史は男性中心に進められた戦争と葛藤で綴られた歴史であり、特に中世時代のキリスト教環境圏であったヨーロッパでの女性の地位は、どこにも現れていなかった」とし、「国が危機に瀕した際に真っ先に先頭に立ったのは女性であり、母の心で周辺の地域や氏族、さらには民族が、天の父母様から祝福を受けられるように教育し、誕生させなければならない」と語り、「私たちの（進む）道は華やかで遮るものがなく、堂々としているので、一つになれば奇跡が起こる」、「天の伝統を立てて教育し、真の息子・娘として誕生させる資格を持った女性連合の全会員となることを祝願する」と、平和のための女性の重要性を力説された。

女性連合 30 周年記念式は、開会宣言、女性連合会員の使命宣言文「私たちの誓い」の斉唱、金秀妍（キム・スヨン）女性連合韓国会長の報告祈禱、文薫淑（ムン・フンスク）女性連合世界会長の歓迎の辞、文善進（ムン・ソンジン）女性連合世界首席副会長および大陸副会長の動画による祝賀メッセージ、文妍娥（ムン・ヨナ）UPF 韓国議長の激励の辞、花かご奉呈、30 周年祝賀ケーキカット、礼物奉呈、「女性連合 30 年史」および性の価値観教材の奉呈、功労賞の授与、韓鶴子総裁の創設者演説、リトルエンジェルス芸術団の祝賀公演、統一の歌の合唱、地域奉仕賞・献身奉仕賞・感謝牌の授与式の順で行われた。





文薫淑女性連合世界会長は歓迎の辞で、「過去 30 年間、新たな次元のグローバル平和運動である女性連合は、地球村の各地で真の母性愛をもとにした真の家庭の価値運動と、真の女性の地位向上のための様々な活動を展開してきた。」とし、「韓鶴子総裁は創設者メッセージで『女性連合は世界女性時代の到来とともに、天義に応じて、女性たちを中心とした平和運動の中枢機関としての使命と役割を遂行するために創設する』と語られた」と述べ、「今は女性時代が到来した摂理の春なので、『ために生きる生き方』を実践する『真の愛の実践者』となり、真の女性、真の母として社会で堂々と声を上げよう」と世界の女性たちの活動に感謝を表した。

第 3 代女性連合世界会長を務めた文妍娥 UPF 韓国議長は、激励の辞で「この 30 年間、女性連合の会員は心一つにして母の愛を実践し、貧困・葛藤・文盲・飢餓・疾病などの問題を改善し、未来世代のために『真の愛の歴史』を築いてきた」とし、「『平和の母』として手本を示してくださった韓鶴子総裁は、『女性の不幸は、女性が神から授かった本性と役割がどれほど貴いものであるかを知らないことに由来している』と語られた」と述べ、「女性連合とともに愛の道を歩んでいけることが喜びであり誇りに思う」と 30 周年を祝った。

女性連合は 1992 年に文鮮明・韓鶴子総裁によって韓国で創立され、「人類一家族の平和世界」実現のために、国際協力、指導者教育、国際救援と分かち合い、奉仕、人種・文化・宗教的和解のプロジェクトを通じて、国連と共に女性の力量強化と持続可能な平和を成し遂げるため、世界 120 カ国に支部を置いて活発な活動を展開している。1997 年 5 月に国連経済社会理事会の NGO の最高等級である「包括的協議機関」として承認され、現在までその地位を維持している。国内では全国 23 の道支部と 200 以上の所属支部を構成し、韓国と北朝鮮の和合および平和のための市民教育、地域奉仕活動、地球家族愛 1% 運動、ガザアイドリーム (GAZA iDream) などの分かち合いや奉仕のプロジェクト、奨学事業を展開している。





①

- 1 世界平和女性連合創立30周年記念式の舞台上に立たれた真のお母様。
- 2 世界平和女性連合創立30周年記念のケーキをカットされる真のお母様。
- 3 礼物奉呈をした代表者と一緒に記念撮影をされる真のお母様。
- 4 真のお母様は世界平和女性連合のために尽力した前任会長たちに功労賞を授与され、記念撮影をされた。
- 5 神韓国女性連合を代表し、5つの地区の生田民子(いくた・たみこ)、ムン・ヘリム、キム・ミジュ、知本幸子(ちもと・さちこ)、森永恵美子(もりなが・えみこ)女性連合地区会長が、真のお母様に花かごを奉呈している。
- 6 リトルエンジェルス芸術団が手に福袋を持ってかわいらしい踊りを踊る「お正月の朝」というレパートリーの祝賀公演をしている。
- 7 (左から)歓迎の辞を述べた文薫淑(ムン・フンスク)世界平和女性連合世界会長、激励の辞を述べた文妍娥(ムン・ヨナ)UPF韓国議長、報告祈祷をした金秀妍(キム・スヨン)世界平和女性連合韓国会長、司会を務めたホン・ソンスン世界平和女性連合韓国副会長
- 8 世界平和女性連合創立30周年記念式典が終わり地区ごとに記念撮影を行った。この写真は1地区の女性連合会員たちの記念写真である。



②



③



④





⑤



⑥



⑦



⑧



# 女性時代が到来した摂理の春

文薫淑（ムン・フンスク）世界平和女性連合 世界会長



尊き天の父母様、天地人真の父母様!そして尊敬し愛する世界平和女性連合の全国役員および会員の皆様!特別に参加して下さった世界の指導者の皆様!お会いできて嬉しいです。歓迎します。参加して下さり感謝いたします。まず、美しく飾られたここ孝情グローバルアートセンターで、世界平和女性連合創立 30 周年を記念する意味深い場をお許し下さった実体聖霊、独り娘、真のお母様の無限なる愛に心から感謝いたします。

今年の天暦 1 月、誰もが信じ難かったワールドサミットの実現を、不屈の意志で進められ、平和の母として、世界の首脳たちに生命のみ言と真理をくださり、奇跡的な高地奪還の勝利を成し遂げられた土台の上に、天暦 3 月 16 日、天地人真の父母様天宙聖婚 62 周年および天苑宮勝利奉獻決意式を挙行されました。一片丹心にみ旨の道を歩んで来られた真のお母様が、天の父母様に対して申し訳ない心情を語られた時、天の父母様に向けた真のお母様の愛の前に、子女として私たちはみな悔い改めずにはられませんでした。

天の父母様が実際に住まわれ、治めることのできる神殿、天苑宮の奉獻式を 2023 年 5 月 5 日に控え、何の欠点も影も

ない者として生まれ変われるようにするため、特別教育と精誠の時間を持たせてくださり、世界平和女性連合 30 周年記念式を、今日このように真のお母様をお迎えして行えるよう、大きな祝福と愛を与えて下さった恵みと栄光に、世界平和女性連合の全世界の会員に代わって愛と感謝を捧げます。

今日を迎えるまで、失われた息子・娘を取り戻すために、6 千年の間、血と汗と涙でご苦労してこられた天の父母様。また天の父母様を解放して差し上げ、人類救援のために生涯かけて 6 千年の墮落歴史を蕩滅され、自ら環境創造をなさり、奇跡の役事を見せてくださっている真の父母様に、私たち全体の愛と感謝の気持ちを込めて、割れんばかりの拍手を送っていただければ幸いです。

愛する天一国の指導者、女性連合の会員の皆様!

女性連合は「神様の本然の創造理想の世界実現」という摂理史的意義を持った新しい次元のグローバル平和運動のために創設された摂理機関です。真のお父様と真のお母様は、それぞれ天の父母様の男性と女性の一性を代表した立場で聖婚され、真の愛を中心に同等の立場におられますが、天の摂理を進展させるために、真のお母様は摂理の中心軸として真のお父様に侍り、絶対的に一つとなりました。1990 年のモスクワ大会、1991 年の金日成主席との会談の勝利の後、「神様祝福永遠宣布式」で勝利された真のお母様は、天の母の解放を通して、全世界の女性の解放と真の女性運動のために、共同設立者として世界平和女性連合を創設されました。

過去 30 年間、女性連合は真のお母様の分身として、地球村の各地で真の母性愛からなる真の家庭の価値運動、平和和解運動、国際救援、国連活動、真の女性の地位向上のための各種活動を展開することができました。

真のお父様が 2012 年に聖和される前に開催された最後の大会、それがアベル女性国連創設大会でした。この大会を最後に開催されたのは、この地上での摂理を実体聖霊、独り娘、真のお母様と一つとなった女性が、アベル女性国連を通じて、主導的に天の父母様の平和世界を成し遂げることを望まれた



からです。真のお父様の聖和以降、真のお母様が2013年1月の女性連合新年賀礼会で、「中断なき前進」を強調され、「愛する娘たち!妹たち!女性が先頭に立って私と一緒に最後まで共に行こう」と涙で訴えられたお姿を、皆様も覚えていると思います。

真のお母様の摂理路程は、誰も行ったことのない道を、お一人で開拓され勝利してきた孤独な道でした。天一国安着を宣布されて以来、大韓民国が急速に世界の中心になりつつある歴史的流れの中で、神統一韓国、神統一世界に向けたビジョン2027が、夢ではなく現実になるように、今日も摂理の最前線で陣頭指揮をされる様子を、私たちはみなよく知っています。

真のお母様は、1992年の創設メッセージで「世界平和女性連合は、世界女性時代の到来とともに、天意に従い女性を中心とした平和運動の中核機関として、その使命と役割を果たすために創設する」と語られました。

真の父母様のみ言通り、今は「女性時代が到来した摂理の春の季節」です。世界はもちろん、大韓民国もますます女性時代へと変化しています。女性が真のお母様に従って一つとなり、平和世界実現の中心的役割を果たすべき時です。

復帰された国で、一日だけでもいいから生きたかったと言われた真のお父様の心情を胸に抱いて、「ビジョン2027」神統一韓国、神統一世界安着の支持基盤を作るために、私たちは今何をすべきかをもう一度考えて決意するこの時間になればと思います。

皆様、真の父母様は、各地域の女性連合の責任者に教会の責任者夫人を立てていただきましたが、その意味は何でしょうか。女性連合の責任者たちに教会の信仰の壁を越えて社会に飛び出し、真の父母様の教えである「ために生きる生活」を実践し、「行動する信仰者」、「真の愛の実践者」となって、社会に影響を与える真の父母様の代身者になって欲しいという意味ではないでしょうか。摂理の第一線で身もだえされ、全力投球される天の独り娘、私たちの真のお母様の心情に対して、他のどの機関よりも真のお母様と同じ気持ちで実践する女性連合になることを切に願います。

愛する女性連合の指導者の皆様!

過去30年間、真の父母様のみ意を受けて女性連合を導いてこられた崔元福(チェ・ウォンボク)初代会長をはじめ、史吉子(サ・キルジャ)会長、ジョン・デファ会長、文蘭英(ム





ン・ナニョン) 会長、文妍娥 (ムン・ヨナ) 会長、そしてチェ・ヨンソン会長、今まで女性連合の発展のために尽力されたご苦勞に心から感謝いたします。

ひたすらみ旨の道を歩まれ、女性連合が今の姿になるまで涙ぐましい献身と犠牲的愛で、病んだ世の中に関心をもって関わってくださった元老家庭、一世の指導者およびすべての会員とボランティアの皆様心から感謝と尊敬の心を伝えたいです。本当に、本当に、ありがとうございました。未熟な私が女性連合を任せましたが、今までどれほどご苦勞が多かったかを実感させられました。本当に本当にお疲れ様でした。皆さんありがとうございました。そしてこの場をお借りして、ご家庭で暖かい愛をもって美しく助けてくださったご主人様たち、一つになって共にご苦勞していただき深く感謝いたします。そして今日、お祝いにつけてくださった男性の皆さんに、女性たちから暖かい盛大な拍手をお願いいたします。本当にありがとうございます。私が女性連合で歩めることは、私の人生で本当に最大の栄光であり、喜びであり、祝福です。

愛する女性連合の指導者の皆様!

真のお母様が女性連合に向けた期待と愛が、どれほど大き

かったのか、改めて感じ悔い改め、真のお母様に侍る実体的基盤となって、靈的に祈祷の精誠の土台を築き、摂理活動の現場の前衛隊となり、真のお母様のみ意に従う「孝情の娘」になりましょう。

天の父母様と真の父母様の真の娘として、真の女性として、真の母として、社会で堂々と声をあげ、影響力を与えられる女性連合になりましょう。誰もが来たいと思い、参加したいと思うコミュニティ、団体として、堂々とした女性連合の姿となり、実体聖靈、独り娘、真のお母様を、本当に美しく、本当に素敵に、人類の真の母として、平和の母として証しする私たちになれることを切に望みます。

私たちにはできます。30年の歴史と真の父母様が生涯を通して見せてくださった驚くべき業績とビジョンに対して誇りを持ち、真のお母様と絶対的に完全に一つとなって、より大きな摂理を成し遂げていく中心となる女性連合になれるよう、みんなで一緒に努力しましょう。

天の父母様と真の父母様のご加護が、皆様と皆様のご家庭と共にあるようお願いしながら、私の歓迎の辞を終えたいと思います。もう一度ありがとうございました。サランナムニダ。☞





# 女性の集団的愛の力で世界を救う

文善進 世界平和女性連合 首席副会長

この30年間、全人類と地球の平和のために努力してきた女性連合に、心からお祝いを申し上げます。私たちが愛し鑑とする創立者、平和の母であられる真のお母様と、女性連合の会員の皆さんが、幸せな創立30周年を迎えてくださることを願います。おめでとうございます! ありがとうございます! 愛しています!

真の父母様が立てられた輝かしき平和の遺産を実現させるために、女性連合と共に活動することは、私にとって何より光栄なことです。私は、現場で感動的な活動を繰り広げている世界の指導者と会員、そしてボランティアの皆さんと共に働く特権を与えられています。

これまでのすべての活動は、78億の人類を「神の下の人類一家族」と考える会員たちの、真実なる愛と情熱から始まったものです。人類を一家族と考え、地球と地球村の兄弟姉妹が真の価値を知ることによって、地球の平和実現という夢に一步近づくことができました。

真のお父様のみ言にあるように、女性連合は世界平和の軸であり、女性たちの集団的愛の力は、世の中を救っています。

いくつかの優れたプロジェクトをご紹介しますと、世界平和女性連合は、疎外された地域の子供や女性のために学校を建設し、能力を高めるプログラムを作って、国連の持続可能な開発目標に貢献してきました。少額ローンによる経済支援は、特に女性創業者にとって大きな力となっています。孤立した村では無料診療所を運営し、栄養支援、エイズ予防プログラムなど、様々な活動が数千人に対して行われています。安定した家族関係のための教育プログラムはもちろん、結婚の準備や子育て関連のセミナーが世界規模で開催されています。世界平和女性連合は、ニューヨークで開催される国連女性の地位委員会に積極的に参加し、世界平和の基盤である真の家庭運動を展開してきました。

私が個人的に最も共感しているプロジェクトは、2020年の



春に発足した「ギビング・フォー・グッド・インターナショナル」です。このプロジェクトは、衣類がゴミ埋立地に送られないように再利用、リサイクル、用途変更を行う、いわゆる「循環型ファッション」を活用しています。このような活動によって「ギビング・フォー・グッド」は、私たちの大切な地球の保護に貢献しています。人は無知と無関心によって自然環境を乱用していますが、私たちはそれを止めることができ、また何としても止めさせなければなりません。

真のお母様は、この世界を天の父母様が太初に創造された状態に元返さなければならないと、何度も言われました。「ギビング・フォー・グッド」は非常に効果的な募金活動を組織して、世界の人道主義活動および環境保護活動を支援するための資金として25万ドル以上を集めました。このように生活の手本となり、インスピレーションの元になるみ言で、世界の人々の生き方を変化させた真の父母様に、無限なる感謝を捧げます。

世界平和に向けたご夫妻の全面的な献身が、今日実を結んでいます。この数年間、世界平和女性連合の活動に貢献してくださった皆さんに感謝いたします。皆さんは、この夢を実現するために誠意を持って動いてくれました。

私たちが互いに力を合わせて教育し、私たちの信念と忍耐、そして何よりも愛が込められた奉仕の心で実践すべきだと思います。私たちがみな創造主、天の父母様を認め、人類一家族として力を合わせていくなら、私たちはこの世に平和を実現させることができます。これまで女性連合の活動に参加してくださった皆さんに感謝し、今後の活動も共にして下さる次世代の平和指導者たちを歓迎します。

来たるべき未来には、女性連合が平和のために今よりはるかに大きな活躍をすると信じて疑いません。ありがとうございました。もう一度真の父母様と女性連合の会員の皆様にお祝い申し上げます! ありがとうございます! サランナムニダ! 🙏

# 母の心、母性的な愛の力で

文妍娥（ムン・ヨナ） 神韓国UPF議長



性連合の指導者と会員の皆様はもちろん、私たち全員が歴史の黄金期にすべき責任が重要であることを心に刻み、天が真に誇り、信じて頼れる子女となることを決意して出発するこの時間になることを切に、切に願います。

尊敬する天一国の指導者の皆様！

私は 1992 年 4 月 10 日、ソウル蚕室のオリンピック競技場で行われた世界平和女性連合創設大会に出席しました。当時、雨が激しく降る中でしたが、世界平和の建設に参加する女性たちで、オリンピック競技場はいっぱいでした。世界 70 カ国から参加した女性指導者たちと、韓国各地から新しい女性時代の出発を希望し、スタジアムをいっぱい埋めた女性たちに響き渡った真のお母様の清らかな声が忘れられませんでした。

女性の不幸は、女性が神様から受けた本性と役割が、どれほど貴いものなのかを知らないことから始まっていると語られた真のお母様の教えは、女性としての自らの価値を新たに認識するきっかけとなりました。さらに、これまで大切にしてきた伝統的な犠牲と奉仕の美德を、世界人類のために与え続け、

尊敬する天一国の指導者の皆様、  
天の父母様聖会世界平和女性連合の会員と指導者の皆様！  
世界平和女性連合創設 30 周年という意義深い席で、いつも天地人真のお母様が会いたがっていた懐かしい皆様実際に会いできて、嬉しく思い感謝の気持ちでいっぱいです。

世界平和女性連合 30 周年を記念するこの場は本当に特別だと思います。天地人真の父母様と世界中の統一家の食口たちが、涙と精誠と慕わしい思いで発展させてきた天苑団地の HJ グローバルアートセンターで記念する、世界平和女性連合の 30 周年です。

2 年以上にわたる新型コロナのパンデミックにより、長いこと会えなかった世界の天一国の指導者たちが集まって祝う時間です。天の父母様が 6 千年の摂理歴史を完成させるために、人類に送ってくださった独り娘、天地人真のお母様に実際に侍り、摂理の完成のために新しい決意で出発する場です。

何よりも今日この場を、天地人真のお母様が精誠を込めて準備してくださったことを考えると、世界平和女性連合に対する天の愛が、いかに大きいかを実感します。だからこそ、女





世界的次元の真の愛に昇華させ、女性が人類の未来自体を孕み、生んで、育てるという歴史的次元の母の役割が重要であることを学びました。

2009年から女性連合が志向する平和な家庭と社会、そして平和世界の建設のため、様々な現場活動に本格的に参加する機会を得ました。「ために生きる真の愛の力で女性が平和を作る」という基本理念は、女性連合が世界120カ国で活動する国連の最高クラスのNGOに発展する原動力となりました。世界中の大陸で、また韓国各地で、女性連合の現場活動に参加する会員と指導者たちに会ってきました。母親のようであり、姉妹のようなその人たちの話を聞いて、一緒に活動しながら感じ、確認できたことは、私たち女性が持つ母性的愛の力でした。世界各地で疎外され困っている人々と継続的に関わってサポートしている勇気と力は、自分のことを優先させるのではなく、子供のため、家族のためにすべてを惜しみなく捧げる、切実な母の心から始まったものでした。

女性連合の会員のモデルとなっている平和の母、真のお母様の教えにより、世界中の女性連合の会員は、現実の困難が

あっても諦めず、着実に平和の母としての役割を果たしてきました。現実の困難にもかかわらず、女性本来の母性愛を中心とした、ために生きる愛のリーダーシップで、子供と女性のために学校を建てて運営し、真の家庭の価値を教育し、救援活動と経済的自立のための技術支援、和解と交流、未来の女性指導者の育成のために力を注ぎました。

これまで30年にわたり、女性連合の会員たちは一つの心で母の愛を実践し、未来世代のために真の愛の歴史を築いてきました。私も真のお母様に侍って、女性連合と共に愛の道を歩んでいけることが嬉しく、誇りに思います。そして歴史的に世界中の女性たちに、天の娘になれるチャンスをくださった真のお母様に、もう一度感謝と愛の心をお捧げします。

真のお母様ありがとうございます。私たち指導者全員が一つの心で、真のお母様の心と心情をもって、世界に向けて前進することをお約束いたします。そして世界平和女性連合が、天地人真のお母様の愛を世界各地に伝える最高の摂理機関になることを切に願い応援します。もう一度お祝いします。ありがとうございました。🌸



# 指導者たちが 真の父母様と足並みを揃える

デービッド・ビアード著

世界中の人に影響を与えたコロナ渦で、真のお母様は、パンデミック以前と同等かそれ以上のことを成し遂げてこられた。その歩みは停滞するどころか、むしろ加速し、真のお母様は統一運動を新たな、そして予期せぬレベルにまで引き上げられた。世界的に有名な様々な分野の指導者たちが真の父母様の働きとその努力の動機をより良く理解するようになった。中にはポーラ・ホワイト牧師のように、神様と真の父母様の夢を実現したいと思うファンや賛同者もいる。

真のお母様は、韓国で開催された天地人真の父母様主催の天一国グローバル指導者特別教育と天心苑特別精誠に、世界中の国家指導者と摂理機関の指導者を招集された。全員とは言わないまでも、ほとんどの人にとって、2年ぶりの修練会だった。各国の指導者たちにとって、真の父母様、韓国、そしてお互いとの久しぶりの再会となった。修練会の休憩時間には、あまりにも長い間会えなかった友人と遭遇し、まるで家族の再会のような雰囲気包まれた。

コロナパンデミックという厄介な状況にもかかわらず、摂理によって世界中の食口が積極的に協力することが求められた。真の父母様は、常に祝福を受け、成功を収め、それを国家指導者や主要組織の指導者に授けてくださった。お母様は指導者たちの多くを何十年も前からご存じで、愛してこられたので、もしかしたら単に恋しく思われただけかもしれない。愛が行動するにあたって正当な動機とならないことはない。

世界平和統一家庭連合の指導者たちは、何十年もかけて真の父母様の信頼と深い愛を受けてきた、優秀な者たちだ。この指導者たちは、離れていた2年間、食口たちや、牧師や政治家、ビジネスマンをケアし、常に真の父母様の教えと摂理的展望につなげようと努力してきたのだ。

いつものように、真のお母様は、優れた講師を選ばれた。彼らは真の父母様の教えを全く異なる視点から講





義することで全体のバランスを取っていた。その一人が、長年清平修練苑の責任者を務めてきた靈性の高い李基誠苑長であった。1年以上前、彼は真のお母様から毎晩 12 時過ぎまで 3 時間祈るようにと指示された。今ではそれが彼の生活の一部となっていて、まるで、常に祈りの中にいるようだ。彼は大きなプロジェクトを任されることも多く、優れた経営者でありリーダーであることが証明されているが、本質的に高い靈性を持っている。私たちが行ったことのない靈的な場所を、まるで訪れたことがあるかのように、その場所を描写する。

李基誠苑長と対をなすのが、金振春博士である。金振春博士は、統一教会の宗教家としては異色の存在である。1977 年から 1981 年まで、韓国の漢陽大学で物理学の学士号を取得し、1986 年から 1993 年まで、アメリカのミネソタ大学で物理学の博士号を取得した。1993 年から 1995 年までは、米国の統一神学校で宗教教育を学んだ。英語も堪能で、科学的な観察にも長けている。物理学者は、エネルギーと物質が相互作用する方法を発見し、研究することに専念する。彼らは、あらゆる状況をさまざまな視点から見る訓練を受けている。修練会の2日目、金振春博士は講義の冒頭 15 分ほどかけて、前日のトピックを別の視点から見て、さらに説明を加えた。彼は真の父母様の教えを研究するために、科学的な方法論を適用している。

この修練会で指導者たちが手にした神学的・靈的な宝は、真の父母様の彼らに対する深い愛だった。彼らが今年の韓国での経験を振り返るとき、ほとんどの人が他人から遠ざかり、希望を見いだせずにいる状況の中で、真のお母様が、お父様と天の父母様の夢を実現するためにさらなる計画を立てるにあたって、自分たちのことを思ってくださいましたことを思い出し、力がみなぎることだろう。今回韓国に集められた国家指導者と元老食口は、真のお母様が地上に神の国を建設するための次のステップで、様々な役割を担っているに違いない。✍️

筆者は、英語版「True Peace」の編集者です。



- 1 天一国世界指導者特別教育の講義を務める金振春(キム・ジンチュン)天法苑長。
- 2 (左から)「天一国世界指導者特別教育および天心苑特別精誠」の開会式で代表祈禱をした金起勳(キム・ギフン)神アメリカ天議苑長、開会の辞を述べた李基誠(イ・ギソン)天心苑長、特別教育の講師金振春天法苑長。
- 3 天一国の世界指導者たちが特別教育の講義を聞いている。

# 黄金期のようなこの時責任を果たし、 天の父母様を喜ばせて差し上げよう

天地人真の父母様主管 世界指導者特別集会 真の父母様のみ言  
天一国10年 天曆3月21日（陽. 2022.4.21） | HJ天宙天寶修鍊苑 天城王臨宮殿



これまで2泊3日間でどれほどたくさん成長しましたか。(はい) そうですね。私たちは真実を明らかにしなければならない時です。ですから、地上に天の父母様をお迎えし、実際に地上天国生活を、人類に見せてあげなければなりません。

そのためには皆さんが摂理を正しく知り、今現在地上で摂理の完成に向かって行く、独り娘、真の母と一つとなり、まず韓民族を通して、韓半島を通して、父母様が誕生されたため、この民族が、この国が、天の父母様に侍り、真の父母様と共に進み行く民族とならなければなりません。

国家の復帰の前に、加平復帰、雪岳復帰をしなければいけ

ません。最善を尽くしてください。

伝道をしなければいけません。民を救わなければなりません。韓国教会は、本部と一つになって、5つの地区は、国家の復帰に専念します。そのようになれば、食口をたくさん作らなければなりません。天一国の民をたくさん作ってこそ、国家の復帰がなされます。黄金期のような、長くもないこの時、天の父母様に喜んで侍らなければなりませんね。そうですか? そうじゃないですか? そのためには一生懸命にしてください。奇跡が起こるよう、もっと一生懸命にしがみついてください。🔗



- 1 (左から)司会を務める房昇晩(バン・スンマン)宣教処長、報告をする方相逸(バン・サンイル)神日本大陸会長、億万歳をした李現榮(イ・ヒョニョン)UPF韓国会長。
- 2 真の父母様に花かごを奉呈している龍鄭植(ヨン・ジョンシク)神アメリカ大陸会長とマイケル・バルコム神ヨーロッパ大陸会長。
- 3 天地人真の父母様主管による天一国世界指導者特別集会在開かれたHJ天宙天寶修練苑 天城旺臨宮殿の大聖殿の会場全景。
- 4 「荒野の男」を歌う神韓国の指導者たち。



## 天地人真の父母天宙聖婚62周年記念 大役事、再びここに

真の父母様のご聖婚 60 周年を記念して行われた孝情天宙特別大役事の前座として行われた孝情文化プログラムでは、2地区のキ・ソンジュYSP 副会長が司会を務めた。

MBT センター長のキム・カヨンさんの指導のもと、手首、肘、肩などの上半身の関節、そして足首、膝、腰などの下半身の関節をほぐす体操が、真のお母様のリズムカルダンス「バウンス」をみんなで踊るための準備運動として行われた。

続いて、2015 年天地人真の父母天宙祝福家庭として祝福を受けたムン・スソンさんと尾崎友紀さんが、孝情証しを行った。話したのは友紀さん。夫が聴覚障害者であり、小さな子どもの世話もあるため、天寶家庭には到底なれないと感じていたという。妊娠中、先祖を解怨するために 40 日修練会に参加したが、経済的に困難な状態だった。そんなとき父親が日本から電話をかけてきて、引っ越しをするので、グランドピアノをどうしたらいいかと聞いてきた。彼女はそのピアノが大好きで大切に思っていたので、心苦しかったが、ピアノを売るように父親に伝えた。そのグランドピアノを売ったお金で、彼女は 210 代の先祖を解怨することができたのだ。

しかし、更に、誰かが夫の名義で不正にお金を借りて、多額の借金を作っていたことが発覚した。このような借金があっても、友紀さんは信仰を示すために、夫に仕事を辞めてもらい、一緒に孝情天寶特別 40 日修練会に参加してもらった。二人は再出発の気持ちで残りのお金を全て使い、先祖解怨と先祖祝福をしながら 40 日間修練会に参加した。修練会の後、夫と胎内にいる子供と一緒に、多くの相談所を訪れてアドバイスを受け、法務局、裁判所、銀行を回って解決策を探した。彼女は、「そのような困難の中でも、無事に出産することができ、問題がひとつひとつ解決していく奇跡をたくさん見ました。」と言った。





そして、「天の父母様、夫が障害を持っていることは知っていましたが、それでも祝福を受けることを決意しました。しかし、この状況はあまりにも大変で、気が遠くなりそうです。天の父母様、私を見ておられるあなたの心は、どんなに痛むことでしょうか！このような状況には何か理由があるのでしょうか。誰も憎まずに解決する方法を教えてください。」と祈った。

友紀さんの夫は障害のため、長い間苦しみながら生きてきた。そして、その苦しみを誰よりも理解し、誰よりも心を痛めているのも天の父母様であることを知っていた。彼女はいつも夫のそばにいて、夫の痛みを和らげ、天の悲しみを和らげたいと思った。そして、夫の耳となり、夫と一緒に暮らそうと決心して祝福を受けた時のことを思い浮かべた。

「夫の耳が聞こえず、子供も小さいので、天寶家族になるのは無理だと思いました。しかし、縦 430 代先祖解怨と先祖祝福を続けるために、毎月孝情奉獻書を捧げ、祈っています。」





## 地球環境復元のための 科学者たちの解案模索の場

文善進 世界平和女性連合 首席副会長

第3回科学と神に関する国際会議 (ICSG) にご参加いただいた皆様、ようこそお越しくございました! 私は ICSG の創設者、韓鶴子総裁の娘の文善進 (ムン・ソンジン) です。皆様にお会いできてとても嬉しいです。皆様は世界で最も偉大な科学者、思想家、そして聡明な方々です。皆様を歓迎することができ、また私の両親の洞察力とビジョンを共有することができて光栄です。

特にリサ・ミラー教授が基調演説者として参加してくださったことに感謝します。私は博士が設立されたコロンビア師範大学の霊性、心とからだの研究所で実際に学ぶ機会に恵まれたことがありました。博士は霊性科学の発展の先駆者であり、最適な健康と幸福のための道を開拓しておられます。生と創造における真の代弁者です。ミラー博士の驚くべき業績に感謝し、今日この場に参加してくださったことに感謝します。

今日は、世界から時差を超えて集まっていただきました。そこで皆様が栄光の朝、美しい午後、そして素晴らしい夜をお過ごしくださることを願っています。皆様がどこから参加されていても、皆様の参加、皆様の情熱、皆様の関心、そして皆様の地球の未来への関心に感謝します。こうした統合的で共同の交流を通して、私たちは地球上のすべての人々と生命体のための平和と繁栄の道を発見し、計画することを願っています。世界平和という崇高な目標は私の両親の使命であり、お二人はこの偉大な大義のために一生を捧げてこられました。そして私は第3回 ICSG の実現にとっても感激しています。ここで私たちは、和合と協力の世界に向けた未来の道を開いていくようになることを、切に願われています。今日の会議のテーマは「先端科学の時代

## Twenty-Eighth International Conference on the Unity of the Sciences Founder's Address



天一国10年天曆3月11日から12日(陽曆2022.4.11~12)にかけてオンラインで行われた第3回科学と神に関する国際会議で、文善進(ムン・ソンジン)博士が代行で設立者演説をしている場面。オンラインで複数の学者がアクセスしている。

における環境保護」であり、当然ながら世界各地で保護が切実に必要とされています。「保護」という言葉は、「障害がないこと、あるいは改善されていないことを修正、改革、または原状に戻す行為」を意味します。

この保護は地球の大自然はもとより、より大きく一次的な課題として、この地上にあるすべての神聖な生命の心、からだ、精神、靈魂が復元されなければなりません。私たちの内外の本性を元の形と本来の精神に回復させ、真の愛、神聖で共通した一体性、調和、喜びと平和を持つことが、私たちの人生における使命です。過去にないくらい、誰もが世界の混乱を目の当たりにし、平和と繁栄は遠い夢のように思えます。しかし、我々は互いに繋がりを持ち、互いに依存しています。また平和に対する脅威とは、あらゆる場所での平和に対する脅威のことです。私たちはロシア・ウクライナ戦争の惨状が西洋諸国を脅かしている現状を目にし、同時に東洋では北朝鮮のミサイル攻撃に直面しています。地球上のどの場所も、このような葛藤の結果から自由ではありません。そして、多層的な人類と環境の痛みと世界経済の不確実性によって、いまだにパンデミックは進行中です。新しいウイルスの変異株が出現したため、新たなワクチン競争に突入し、様々な事例が急増したり減少するにつれて、家庭、職場、そして生活の中で、私たちは安全を確保するための不安な戦いに取り残されています。地球が気候変動の影響を受けているため、安定したものは何もないことに気づき始めています。過酷な気候、激しい干ばつ、記録的な火災、洪水と嵐、竜巻が私たちの愛する場所を粉々に破壊しています。日々世界の人々の移動と、地球上の貴重な種の増加と減少を目撃しています。宇宙からの輝かしい生命の賜物はみな汚染され、無駄にされ、枯渇しています。その結果、私たちはより多くの困難に直面した人々を見ることになり、世界的に必要とされる人道的な環境援助が急増しています。人類はお互いに絶えず争い分裂しており、地球上のあらゆる生命は苦しんでいます。

### 愛が鍵です

2017年の第23回ICUSの演説で母は、科学者に対して科学研究の真の利点を認めながらも、利己的な考えから始まった問題点も指摘されました。母は科学者に、「皆さんは神様を知らなければなりません。人間は人類の生存を脅かし、天地のすべての創造物の生命を脅かす方向に向かっていきます。私たちは人間の副

産物によって未来を保証することはできず、これを私たちが無視してはならないことを意味し、今日の私たちがすぐに必要としていることだけを研究しようと提案すべきであり、今後訪れる未来世代を見据えていかなければならない。」と語りました。それは大切なことであり永遠なことです。残念なことに、私たちが未来を考える時、時間は私たちの味方ではありません。今までは生きていくための食糧供給の減少と残りを消費しなければならぬ複合的な必要性から、地球の規模を押し量ってきましたが、今は生存の危機に瀕しています。

それでは、この持続不可能な時代に、平和へ向かう道はどこにあるのでしょうか。人間の欲と無関心によって、私たちは汚染されていない豊かな創造物の賜物を失ったのだと思います。もし私たちが感謝と責任感と調和、そしてどの人生に対しても愛の中で生きられる自身の心を回復できないのなら、どうやってこの驚くべき創造物の美しさを回復させられるのでしょうか。

この質問の答えは、私の父である文鮮明牧師の「平和を愛する世界人として」という自叙伝に記されています。父は、「最も小さな砂粒にも世の中の原理が込められており、空中に舞うほこり一つにも宇宙の調和が込められています。私たちの周りのものはみな、私たちが想像することすらできないほど複雑な力の組み合わせからできています。これらの力は互いに非常に密接に関連しています。宇宙のいかなるものも神様の心情の外で生まれたものはありません。一枚の葉が動く時、その中で宇宙の呼吸が維持されるのです。」とされました。

私たちは、優しくささやくような春の雨と、ザーザーと降り注ぐ秋の雨の違いを感じ取れるようでないといけません。真の人格を持ったといえる人は自然と共鳴する人です。道端に咲いたタンポポは、世界中の黄金を集めたものより貴重です。自然を愛し、人を愛することのできる心が必要です。自然を愛することができず、人を愛することができない人は、神様を愛する能力に欠けています。創造のすべては、象徴的な次元で神を具現化させたものであり、人間は神の姿から創造された実体的存在です。自然を愛することができてこそ神様を愛することができます。

宇宙の生命の始まりから、最高の自覚、そして神聖な存在と共鳴するための心とからだと靈魂を取り戻し、回復させることのできる鍵は愛です。私たちは自然を愛し、人を愛することを知らなくてはなりません。神、アッラー、ヤハウェ、アドナイ、高貴な力、霊性など、皆様に響くすべてを理解することで、神様の愛と幸福、一体、すべての生命と創造の平和が宿る真の内的本性を知ることができます。私たちの心と精神、からだと靈魂が、どんな生命や創造物も尊重し、思いやり、愛することができるようにしてくれるのは、授け受けること、深い共鳴、共生関係によります。私たちが無条件の愛による内的力を利用するようになれば、外的結果は誰もが夢見てきた世界、平和と平安、喜びの世界になるでしょう。

今日、私は会議のテーマである「先端科学の時代における環境保護」がもたらす偉大な精神と心を持つことができるようになったことを誇りに思います。私たちは皆、人類と地球のための平和、繁栄、福祉の夢に私たちを導く最高の知恵の源に元返ることを願っています。科学の発展により、私たちは物質を超えた世界を明らかにすることで、宇宙の究極的存在である神と向き合うことを期待することができます。ICSG が、伝統科学で触れてこなかった領域を探求し、環境と人間の関係、心とからだ、心理学と生理学、霊性などに関する神話の謎を解く、意味ある役割を果たしてくれることを期待しています。そうすることで、ICSG は科学の新しい歴史を開くことに貢献し、私たちが環境を復元することのできる方法を向上させてくれるでしょう。皆様の偉大な貢献に感謝し、皆様の業績が世の中の軌跡を実存的な破壊から、啓蒙的復元、和解、持続の可能性、未来世代のための平和に変えてくれると信じています。共同の連帯意識で錨をあげた今回の会議で、皆様がこの世界をより平和な現実に変えることができるアイデアと研究成果を提示する貴重な機会にしてくださいを願います。今回の会議で、皆様の発表や意見を聞くのを楽しみにしています。ありがとうございました。☞



第四次 科学の統一に関する国際会議、ニューヨーク、ウォルドルフ、アストリアホテル（主題：科学の求心点と絶対的価値）

## 科学の統一に関する 国際会議 (ICUS) 歴史ブリーフィング

スコットランドの科学者であり、ローマクラブの共同創立者である故アレクサンダー・キング博士は、科学の統一に関する国際会議 (ICUS) を「様々な分野の学者たちが集まり、全世界の問題について総合的かつ攻撃的に相互議論できる唯一の機会だ」と説明した。ICUS は依然として世の中を利としようという真の父母様の強い熱望を表現したものだ。

### 科学の統一に関する国際会議 (ICUS) 創始期

最初の ICUS は 1972 年に開かれ、真の父母様は到着した出席者たちと挨拶を交わした。第一回会議での真のお父様の演説タイトルは「現代科学の道徳的方向性について」であった。演説で真のお父様は「周知のように人類は古代あるいは中世時代と比べものにならない高度な発達と豊かな社会を構築し、科学がこのような発展の決定的要素であったことには疑いはない。もし科学が発達していなければ、今日のような経済的繁栄は起こっていなかっただろう。この事実は、多くの科学者たちが幸せで理想的な社会の実現を使命としていることを示している」と語られた。参加者たちは科学が経済に及ぼす影響と、世界の道徳的方向に統一された科学の役割というようなテーマについて討論した。

第一回 ICUS は 8 カ国から 20 人の科学者が出席したが、真のお母様の自叙伝によると「1972 年、夫と私は最初の ICUS を招集した。他の新しいプロジェクトと同様に、私たちはこれを成し遂げるために多くの困難と苦痛に耐え抜いた。ICUS が発足した後、多くの学者は私たちが科学者を利用して自身を正当化したと非



第十次科学の統一に関する国際会議

難した。数年後、そのような学者たちは私たちの招待に応じて、自分の研究を学会で発表したりした。ICUSの真の動機に気付いたからだ」と振り返った。

東京で開かれた第二回 ICUS には、60 人の科学者が参加した。科学の哲学に関する本を何冊か執筆した沢田允茂がその年に議長を務めた。真のお父様は「現代科学と人間の道徳的価値」についてみ言を語られた。お父様の演説で、「本来、人は善良で価値のある目的を中心に、心と体が統一され調和を成す存在にならなければならない。科学の本来の性格も人間に似た心と体、両面を統一的に具現していると思う」と語られた。

第三回会議はロンドンで開かれ、128 人の科学者が出席した。彼らの中には 18 人のノーベル賞受賞者が含まれている。1932 年のノーベル生理学賞受賞者のエドガー・ダグラス・エイドリアンがその年議長を務めた。真のお父様は「科学と絶対価値」について語られ、その場で「過去、私たちは深い省察をすることなく、人間の豊かな暮らしへの科学技術の貢献を認めてきた。今や私たちは気になり始め、いくつかの不安な質問が思い浮かぶ。私たちはより幸せなのか？ 私たちは倫理的により健全であるのか？ 私たちはお互いに対する愛と関心で、より人道的であるのか。人間は定量化できない多くの側面を持っているため、このような質問に対する答えを単純な統計的結果を分析するだけでは見つけられない」と演説された。

1984 年の第 13 回 ICUS では異なる点があった。真のお父様はダンバリーの獄中にいらっしゃり、真のお母様の自叙伝で「1984 年 9 月 2 日から 5 日まで、第 13 回 ICUS がワシントン DC で開かれ、世界四十数か国から約二百五十人の科学者が参加しました。私は科学者たち一人一人と挨拶を交わした後、演壇に上がり、毅然とした態度で歓迎の辞を述べました。そうして創設者不在の中、国際会議が成功に終わるや、科学者たちが私の元に来て、口々に感謝の気持ちを伝えてきたのです。信徒たちも感服した様子でした。すべての人々はこの会議が神様のものであり、一個人に依存していないことが分かりました」と振り返った。

朝鮮戦争を経験した夫婦が科学の道徳的または非道徳的利用について熟考するのは適切に思う。朝鮮戦争に使用するために数多くの兵器が発明され、試験された。真の父母様は人類の利益にならない科学に対する個人的見解を持っていて、世の中を変えるために最善を尽くされた。2000 年の ICUS 以降、真の父母様は救援摂理の別の側面に焦点を当てられ、数年が経過した。



第23次 科学の統一に関する国際会議(ICUS)、ソウル、蚕室ロッテホテルワールド (主題：地球環境の危機と科学)

#### 復活した科学の統一に関する国際会議 (ICUS)

次の ICUS は 2017 年 2 月に開かれ、真のお父様聖和後、5 年ぶりに行われた。ICUS の行事は現在、孝情国際科学統一財団によって行われている。新しい組織とともに会議は自然環境の保存に焦点を当てている。2017 年 2 月 4 日、真のお母様が主催された会議で、ICUS を復活させた理由を出席者に直接語られた。2017 年 2 月 4 日から 5 日までソウル蚕室 (チャムシル) ホテルロッテワールドで開かれた第 23 回 ICUS での真のお母様の演説は以下の通りである。

「こんにちは私がなぜ科学者の皆さんを集めてこのような話をするのかと言えば、皆さんは知らなければなりません。天秘を知らなければなりません。神様を知らなければなりません。この地球星は神様のものです。人類もまた神様のものとならなければなりません。皆さんが 21 世紀に豊かさを満喫することのできる、多方面ですべてを発明しました。しかし、その裏側で副産物として人間の生存を脅かす天地万物の生命を脅かす、地球の未来がない、人間の未来がないそのような方向に進んでいると思います。これをただ無視して、すぐに今日必要なものだけを研究しようとしてはいけないということです。自己主義的な、間違った考えを持っている人々によって万物が病んでいます。神様が創造されたその方向の通りに、循環の法則に従うようになれば、公害はあり得ません。科学文明は様々な面で公害を生みました。私が再び科学者大会を復活する理由はそこにあるのです。人間の生命を脅かす、地球の存続を脅かす出来事を防がなければなりません」

#### 世界中の科学の統一に関する国際会議 (ICUS)

最初の ICUS は 1972 年、アメリカのニューヨークで開催された。その後 2 年は東京と英国ロンドンで開催された。その後 6 年間は、アメリカの様々な都市で開かれた。1981 年に初めて ICUS が韓国で開催された。1992 年から 1998 年までの 7 年間はアメリカで開催され、韓国では 1991 年、1992 年、1997 年、2000 年に開催された。真のお母様が 2017 年に ICUS を復活させ、朱東文 (チュ・ドンムン) 博士を孝情国際科学統一財団会長に任命し、ICUS をその組織の下に置かれた。2017 年から 2020 年まではソウルで開催され、2021 年からはオンラインで行われている。最近では、宇宙聖婚 62 周年記念行事の一環として、2022 年 4 月 13 日から 14 日までの 2 日間、第 28 回 科学の統一に関する国際会議をオンラインで開催した。🌀

